

■インド：インドメーカー、超臨界石炭火力の建設を受注

2017年12月18日付の報道によると、重電メーカーであるバーラト重電機は、南インドのタミルナードゥ州に建設が計画されている超臨界石炭火力発電所（66万kW×2基）の建設工事の請負契約（EPC）を受注した。契約額は1.1億ドル。発注元のタミルナードゥ発電・配電会社（TANGEDCO）は、国際入札で募集した。バーラト重電機は、「我社は、タミルナードゥ州にある石炭火力発電所の全設備容量の83%を請け負っており、州の電力開発に大きな役割を果たしている」と述べた。同社は過去3年間にTANGEDCOから北チェンナイでの80万kW×1基など計4件（452万kW）の超臨界石炭火力発電所のEPCを受注している。